7.試運転と初期設定の確認

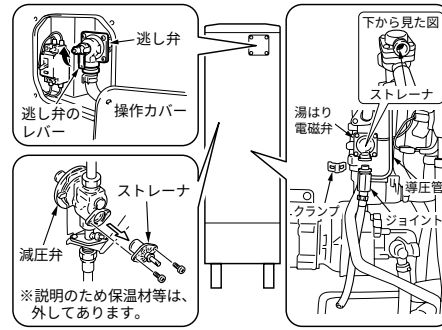
お願い

- **お客様立会いで試運転を実施し、初期設定項目の確認を行ってください。**
- **給水はすべての配管接続および電気工事終了後に下記手順で行ってください。（未接続の場合は正常に給水できません。）**
  （手順が異なるとエア抜きが十分できず、沸上げ異常になります。）

7-1.給水およびエア抜き

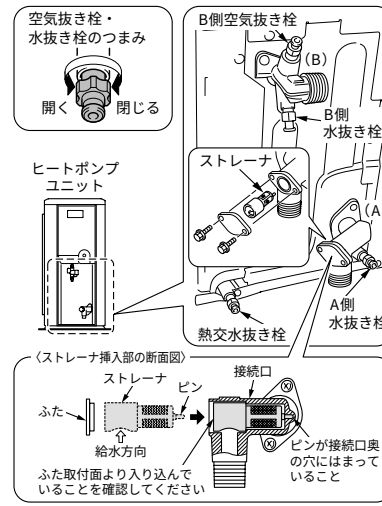
（1）逃し弁のレバーを上げ、給水配管の止水栓を開き水を入れます。

（2）減圧弁ストレーナ部のゴミつまりを点検します。
① 数分間給水したら一度、給水配管の止水栓を閉じます。
② 減圧弁ストレーナ部のゴミつまりを点検します。
③ 湯はり電磁弁からジョイントを取り外し（クランプの固定を外す）、大気開放部のストレーナの目づまりを点検します。
・ジョイントを取り外すとき水が少し出るため、貯湯タンクユニット内の部品に水がかからないようにしてください。
・大気開放の際に、導圧管を変形させないように作業を行ってください。
④ 減圧弁ストレーナを元に戻して再度、給水配管の止水栓を開き水を入れます。



（3）満水になったら逃し弁のレバーを下げます。
・ 排水口から水が勢い良く出てきたら満水です。（満水までの目安は30分）

（4）ヒートポンプユニット配管およびヒートポンプユニットのエア抜きをします。
① ヒートポンプ配管の逆止弁付止水栓を開きます。
② ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、エア抜きをします。
（2分以上十分にエアが抜けるまで行ってください。）
③ ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓を開き、エア抜きをします。
④ エア抜きが十分できたら、ヒートポンプユニットの水抜き栓（熱交、A側、B側）を閉じます。



お願い

- **空気抜き栓・水抜き栓をはずした場合、これを取り付けるときにはゴミなどがかみ込まないように気をつけてください。**

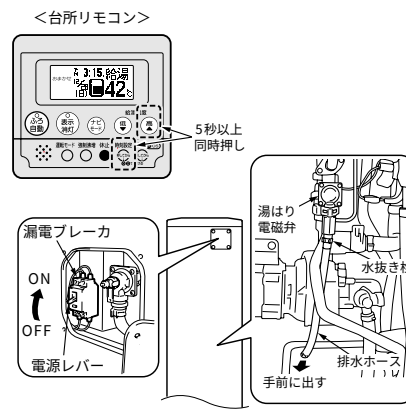
（5）ヒートポンプユニットA側接続口のストレーナのゴミつまりを点検します。
① ヒートポンプ配管の逆止弁付止水栓を閉じます。
② 給水配管の止水栓を閉じます。
③ 貯湯タンク内の圧力を逃します。（逃し弁のレバーを上げ、圧力が抜けたらレバーを下げます。）
④ ヒートポンプユニットA側接続口のストレーナを開き、ゴミつまりを点検します。
⑤ ストレーナを元に戻して再度、給水配管の止水栓を開きます。
⑥ ヒートポンプ配管の逆止弁付止水栓を開きます。
⑦ 逃し弁のレバーを上げ、エアを抜き貯湯タンク内を再び満水にします。

（6）電源を入れ漏電ブレーカの動作点検をします。
① 200V電源ブレーカおよび漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。
② 漏電ブレーカのテストボタンを押し、ブレーカの動作確認をします。
・「ON」になっていた電源レバーが「OFF」になれば正常です。
③ 確認が終わったら電源レバーを「ON」に戻します。

⚠警告

- **漏電ブレーカの動作を確認する**
  故障のまま使用すると、感電する恐れがあります。

（7）ヒートポンプユニットのエア抜き運転をします。
① 台所リモコンの「時刻設定」と「給湯温度▲」スイッチを5秒以上同時押しで、ヒートポンプユニット側給水ポンプの強制運転をします。
・ 強制運転中は台所リモコンの表示部に「ヒートポンプ　エア抜き中」が表示されます。
② 運転の途中で、ヒートポンプユニットB側水抜き栓を開き、再びエア抜き（2分以上連続して勢いよく水が出るまで）をします。
③ 十分エア抜きができたと判断できたら、ヒートポンプユニットB側水抜き栓を閉じます。
④ 台所リモコンの「時刻設定」と「給湯温度▲」スイッチを5秒以上同時押しで、ヒートポンプユニット側給水ポンプの強制運転を停止します。



⚠注意

- **ヒートポンプ往戻（A・B）配管の止水栓は必ず開放（開栓）して、ヒートポンプユニットを運転する**
  ヒートポンプ内蔵ポンプが損傷する恐れがあります。

（8）湯はり電磁弁の水抜栓を開いて、数秒間水を出してください。

（9）湯はり電磁弁の水抜き栓を閉じます。

お願い

- **水を抜くときは、排水ホースを手前に引き出して、貯湯タンクユニットの各部品に水がかからないように作業を行ってください。**
- **配管に漏れがないことを確認してください。**

7-2.初期設定とヒートポンプユニットの運転（リモコンの操作は取扱説明書を参照してください）

（1）台所リモコンで時刻設定を行います。

お知らせ

- **時刻設定をすると、自動的にヒートポンプユニットの運転を開始します。（深夜のみモードを除く）**

（2）ヒートポンプユニットが正常に運転していることを確認します。

・30分以上正常に運転し、かつ貯湯タンクユニットB側配管の温度が上がっていることを確認します。（やけどに注意）

お知らせ

① 故障コード「E27」「E29」「E30」を表示する場合は、電源線やリモコンコードの接続不良が考えられます。以下の項目を点検してください。

- **E27・・・ヒートポンプユニットへの電源線（極性・配線色）を点検する。**
- **E29・・・浴室リモコンへのリモコンコードを点検する。**
- **E30・・・台所リモコンへのリモコンコードを点検する。**

② 時計表示部に「103」「117」「120」を表示して、ブザー音と共に運転が停止する場合は、ヒートポンプ回路へ正常に水が回っていないことが考えられます。（3分後自動的に再起動します。またこの表示は沸上げ開始後4時間以内のみです。）

また、表示せずに沸上げが停止したり、沸上げを開始しないときは、ヒートポンプ回路へ正常に水が回っていないことが考えられます。
台所リモコンの「運転モード」「予約」スイッチを同時に5秒以上押して表示をリセットし、台所リモコンの「休止」を2回押して休止1日の設定（※）としてから1分後電源をOFFし、以下の項目を点検してください。

- **ヒートポンプ配管の止水栓が閉じている。　→開いてください。**
- **逆止弁付止水栓の方向が逆となっている。　→正規の方向に修正してください。**
- **ヒートポンプ配管のB側に逆止弁付止水栓が付いている　→B側の逆止弁付止水栓を取り外してください。**
- **ヒートポンプ回路のエア抜き不十分。　→エア抜きをはじめから行ってください。（7-1の手順）**
- **ヒートポンプ回路のストレーナのつまり。　→つまりを除去してください。**

※休止設定にしないとヒートポンプ回路を開放したときに水があふれることがあります。

⚠警告

- **熱いとき、ヒートポンプユニットの接続口や水抜き栓にはさわらない**
  停止直後は熱くなっており、やけどの恐れがあります。

リセット方法（故障コードもリセットできます。）

- **台所リモコンの「運転モード」「予約」スイッチを同時に5秒以上押す。**
  又は
- **浴室リモコンの「給湯温度▼」「ふろ温度▲」スイッチを同時に5秒以上押す。**

7-3.湯はり動作の確認（貯湯タンクユニット内が水でも次の操作により、湯はり動作が確認できます）

（1）湯水混合栓をお湯側にして開き、タンクおよび配管内のエア抜きをします。

（2）浴室リモコンの「呼出」「ふろ自動」スイッチを同時に5秒以上押すと、水による自動湯はり試運転を開始します。

正常な湯はりの流れ

- **最初に約10ℓ通水して通水停止**
- **循環ポンプを30～60秒間運転して停止**
- **ふろ循環アダプタ（中心）＋約10cmまで通水して停止**
- **循環ポンプを2分程度運転して停止**
- **設定水位まで通水して終了**

（3）湯はりが完了すると、音声およびブザーでお知らせします。

（4）浴槽の湯量（水位）を確認します。

お願い

- **浴槽の水を全部排水してから、湯はりをしてください。**
- **水栓から浴槽への湯はりはしないでください。**

参　考

初期設定水位　：　ふろ循環アダプタ（中心）から上に約25cmの水位

お知らせ

- **初回の湯はりは、浴槽の容量を学習するため湯はり時間が長くなります。（目安：湯量200ℓで1階の浴槽は約25～30分）**
- **必ず湯はりを完了させてください。（途中で湯はりを止めたりすると、水位を誤検知し翌日以降の湯はりが正常に行われない場合があります）**

お願い

- **ふろ配管の接続部から水漏れがないことを確認してください。（ふろ循環アダプタから泡がでる場合は、水漏れの可能性があります。）**

お知らせ

① 故障コード「E14」「E28」を表示して、ふろ自動運転が停止する場合は、ふろ配管への循環不良などが考えられます。以下の項目を点検してください。

- **給水配管の専用止水栓が閉じられている。→開いてください。**
- **ふろ配管の循環不良。　→配管のつまり、つぶれを点検してください。**
- **減圧弁のストレーナのつまり　→つまりを除去してください。**

② 故障コード「E20」を表示して、ふろ自動運転が停止する場合は、ふろ配管の施工不良が考えられます。
例：ふろ配管が鳥居形状で、ふろ循環アダプタより低くなっていない。
：ふろ配管（戻り）が目づまりしている。

7-4.正常動作の確認

（1）台所リモコンおよび浴室リモコンが取扱説明書の通りに操作できることを確認します。

（2）試運転完了後、浴槽の水を排水します。

お願い

- **動作確認後は、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」のままにしておいてください。**
- **施工後、お客様へ引き渡すまでに長期間ある場合や冬期で凍結の恐れのある場合は、7-5の手順で貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニット内の水を排水してください。**

7-5.排水の仕方

（1）タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。
（合併槽をご使用の場合は、特にご注意ください。）

（2）台所リモコンの「休止」ボタンを2回押し、休止１日の設定にします。

（3）貯湯タンクユニットの漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。

（4）専用止水栓（給水配管）を閉じます。

（5）貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げます。

（6）貯湯タンクユニットの排水栓（2箇所）を開きます。

（7）排水栓からの排水が終ったら、ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開きます。（開放のまま）

（8）ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓（2箇所）を開きます。（開放のまま）

（9）ヒートポンプユニットのB側の空気抜き栓（1箇所）を開き、下側の水抜き栓からの排水を確認します。

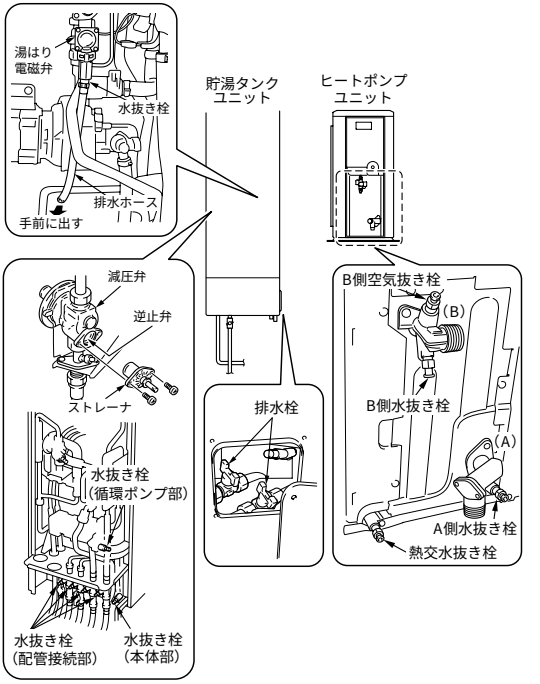
⑽ 貯湯タンクユニットの水抜き栓（配管接続部4箇所、本体部1箇所）を開きます。

⑾ 貯湯タンクユニット内の減圧弁ストレーナ部をはずし、減圧弁内の逆止弁をドライバーなどで押して水抜きをします。また、湯はり電磁弁および循環ポンプ部の水抜き栓を開きます。

⑿ 配管の途中に水抜き栓が設けられている場合はこれも開きます。

⒀ 貯湯タンクユニットの湯はり電磁弁の水抜き栓を開き排水を確認します。

⒁ 排水が終了したら、すべての水抜き栓、空気抜き栓を元どおり閉じます。



⚠注 意

- **凍結の恐れがあるときは、機器内部の水を抜く**
  冬期に水が凍結して機器が破損する恐れがあります。
- **機器内部のお湯を水に変えてから抜く。**
  やけどの恐れがあります。

8.お客様への説明

● 取扱説明書を使用して、正しい使い方をお客様に説明してください。特に「安全上のご注意」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので必ず守るようご説明ください。

● 設定項目を、お客様と相談し適切に設定してください。（電力モード、運転モード、湯はり温度、湯はり湯量、オプション設定によるTEL登録など）

●「お手入れと日常点検」の項目については、機器で具体的に説明してください。

●「冬期の凍結予防について」の項目についても、機器で具体的に説明してください。